

# 1万人のエコチェック事業

## 事業概要

県内約1万人の公衆衛生推進委員を対象に、家庭で消費されるエネルギーの削減運動を展開する事業で、平成22年度からスタートした。内容は、9月の検針日までの約1カ月間、家庭で電気・ガス等の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、その効果を数値的に「見える化」する。24年度は、電気・ガスのほか、灯油・ガソリン・軽油の項目も新たに追加するとともに、実践率50%を目指した。多くの推進委員の実践を促すため、エコチェックカードは、広島県公衆衛生大会の「エコチェック事業おたのしみ抽選会」の抽選券として活用。さまざまな景品が獲得できるしくみとしている。



○エコチェックカードおもて(左)、うら(右)

## 事業の流れ

- 4月27日(金) 事務担当者会議(1万人のエコチェック事業実施要領配布)
- 7月31日(金) 申請〆切  
(申請後) エコチェックカードと記載マニュアルを郵送にて配布
- (8月~9月) 各家庭で省エネを実践(電気・ガスの 9月分検針票を確認)
- (9月 下旬) エコチェックカードに電気・ガスの使用量、省エネ実践項目を記入
- 10月12日(金) エコチェックカードを各公衛協に提出〆切
- (10月 中旬) エコチェックカードを回収し、集計を実施
- 10月22日(月) 実施報告書を提出〆切
- 11月18日(木) 第53回 広島県公衆衛生大会にエコチェックカードを持参  
(一万人のエコチェック事業おたのしみ抽選会の実施)

## エコチェックカード記入マニュアル

エコチェックカードの記入方法について分かりやすく解説したマニュアルを配布。使用量のお知らせの見方や省エネ実践項目などを記載している。



(A3見開きサイズ)

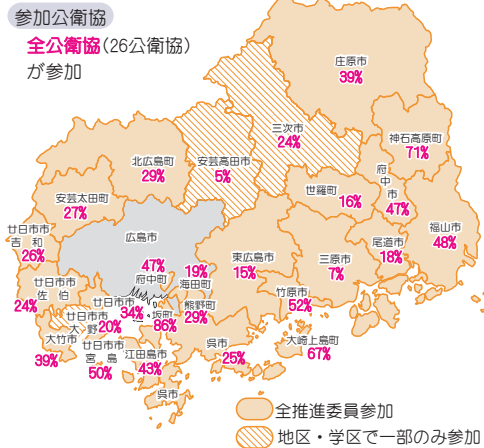
## 平成24年度の実績

### 申請人数・実践人数

広島県内公衆衛生推進委員(広島市除く) 9,268人のうち、  
申請者数: 8,063人(参加率: 87.0%)  
実践者数: 2,606人(実践率: 28.1%)

### 参加公衛協

全公衛協(26公衛協)が参加



(注)実践推進委員数・エコチェックカードを提出した人数

## エコチェック事業集計報告

電気	平成24年度	平成23年度(参考)	平成22年度(参考)
実践世帯数	2,606 世帯	2,202 世帯	2,116 世帯
1世帯当たりの平均使用量	約524 kWh	約556 kWh	約570 kWh
1世帯当たりの平均増減量	約14kWh ↓(減)	約58kWh ↓(減)	約75kWh ↑(増)

## 実践率ベスト3

実践率ベスト3には、おたのしみ抽選会で記念品を授与

- 第1位 坂町(実践率:86%)
  - 第2位 神石高原町(実践率:71%)
  - 第3位 大崎上島町(実践率:67%)
- あったかグッズでもっと省エネ  
充電式エコ湯たんぽ 24個

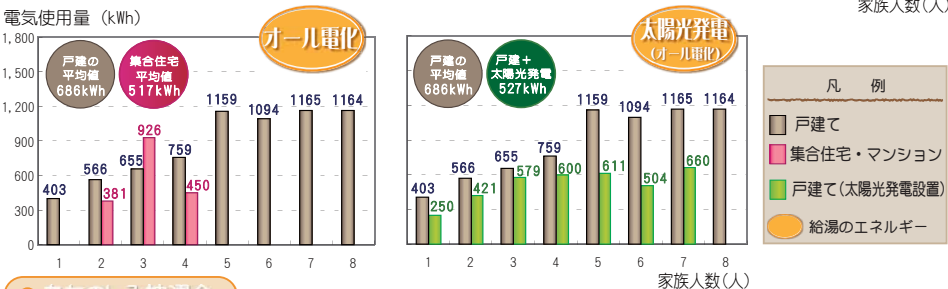
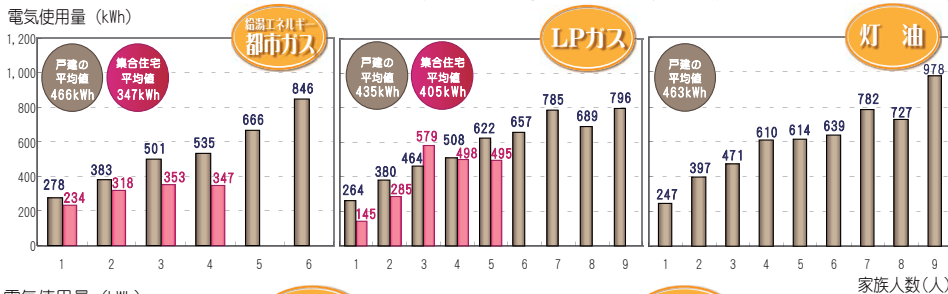
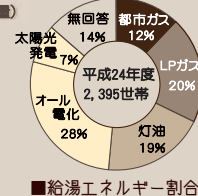
## 平成24年度の実績

### ○平均的な家庭の電気使用量

回収したエコチェックカードのデータを集計し、家族人数別・給湯エネルギー別の平均電気使用量を算出

標準値基礎データ(平成24年9月の電気使用量)

- 有効回答数 2,395データ
- 戸建率 87%



## ○おたのしみ抽選会

### マツダスタジアム観戦チケット(10紙合計 5~6人/紙合)



#### ★当選した公衛協★

- 竹原市(2)
- 大崎上島町
- 廿日市市大野
- 東広島市黒瀬支部
- 三原市
- 福山市松永学区
- 呉市(3)

### 福山市特産品セット(30セット)



#### ★当選した公衛協★

- 竹原市
- 大崎上島町
- 廿日市市
- 廿日市市
- 尾道市
- 廿日市市宮島
- 北広島町(3)
- 羅国町(2)
- 三原市
- 府中市
- 福山市(6)
- 呉市
- 廿日市市
- 三原市

### リアルタイム電力モニター(10個)



#### ★当選した公衛協★

- 府中市(2)
- 東広島市
- 三原市(2)
- 庄原市
- 呉市(4)

## 成果

- 全公衛協が実践  
実践率は28%(実践者数:2,606人)で、昨年度より2ポイント増加した。
- 平均的な家庭の電気使用量を算定  
回収したカードから電気使用量の数値をデータ化し、住居属性別の標準電気使用量を算定した。
- 実践率ベスト3を表彰  
抽選会の席上で、実践率が高かった公衛協を表彰した。

## 平成25年度に向けて

- 目標値は実践率50%を継続して設定  
平成27年(事業開始5年目)までに達成を目指す。
- カードははがき仕様に変更  
実践率向上を目指すため、エコチェックカードを返送できるはがき仕様とし、実践項目は電気のみとする。
- マニュアルを全面改定  
活動のマナーリ化を防ぐために、新たな動機づけとして、平均的な家庭との比較ができるようマニュアルを全面改訂する。